

SS 研システム技術分科会 2011 年度第 2 回会合 「創るクラウド～プライベートクラウド活用特集」

～ SS 研会員、IS 研会員、CS 研会員機関の方ならどなたでもご参加いただけます ～

- 日時 : 2012 年 1 月 27 日(金) 分科会 13:30～17:30 (受付 13:00～) / 懇親会 17:45～19:00
- 場所 : 富士通株式会社 本社 24 階 大会議室 [東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター]
- 開催趣旨

クラウドはパブリッククラウドを利用して情報システムおよび資産をすべて組織外に出すタイプと、計算機センターなどで運用するプライベートクラウドに組織内にある情報システムや資産を集約しようとするタイプに分類できます。最近では、大学でも実用的なクラウドの導入が始まっていますが、大学内部の情報を学外に持ち出し難いため、計算機センター内等にプライベートクラウドシステムを構築している事例が多いのが現状です。

このような背景のもと、システム技術分科会では、自組織専用のあるいは複数の機関で共有できるプライベートクラウドの大学機関による構築、運用事例を取り上げその技術やノウハウ、課題を紹介して頂きます。さらに、学術機関だけではなく企業におけるプライベートクラウド利用事例も取り上げます。

現在プライベートクラウド導入中の機関で悩みのある方、あるいは、今後すぐにプライベートクラウドを導入予定の機関でわからないことのある方には是非、会場にお越し頂きたいと考えています。

- プログラム (予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承下さい。)

-敬称略-

13:00～	受付
13:30～13:40	開会あいさつ
13:40～14:30 講演 40 分 Q&A 10 分	[1] データセンタを利用したクラウド型演習室の構築 中村 直人 (千葉工業大学) 理工系大学の IT 教育においては、産業界と同様な CAD、CG などの実習・演習が必要であり、高スペックな PC 上で、高負荷なソフトウェアで行っている。さらに、最近の「学生の学習時間の保証」という教育的観点からは、そのような学習環境をいつでもどこでも利用できるサービスへの展開も考慮しなければならない。一方、大学経営的観点からの IT 設備の管理・運用コストのダウンも必修の課題である。すなわち大学においても高可用性とコスト削減の両立が求められている。本学では、これまで 2 つのキャンパスのうち一方のキャンパスをサーバとシンクライアントによる構成の演習室とし、各 PC のメンテナンス業務などを削減し、管理・運用の軽減を行ってきた。今回、そのような取り組みをさらに発展させるため、学外のデータセンタにサーバを設置し、仮想デスクトップ環境による演習室を構築した。本講演では、その演習室構築における CAD、CG などの高付加なソフトウェアの仮想デスクトップ環境での実現と運用状況について紹介する。
14:30～15:20 講演 40 分 Q&A 10 分	[2] クラウド利用を中心とした IT 現場のイノベーション 小林 賢也 (東京海上日動システムズ株式会社) グローバル化の進展による競争の激化、長期化する景気低迷の影響などから、日本企業の IT 部門にはこれまで以上に厳しいコストカットと、IT を活用した新たなビジネスモデルのスピーディな展開の両方が求められている。東京海上日動システムズは東京海上グループの IT 戦略策定をリードし、それを実践する会社である。情報システムの計画、設計、構築、保守、運用といったライフサイクル全体を担う現場としても、これまでの考え方の延長では、経営からの厳しい要求には応えられない。IT コスト構造そのものの変革やスピーディなビジネス展開を実現するためには、クラウド技術やクラウドサービスを選挙しては通れない現状にある。本講演では、当社を例に、クラウド利用を中心とした IT 現場のイノベーションを現場目線でお伝えする。
15:20～15:40	休憩
15:40～16:30 講演 40 分 Q&A 10 分	[3] スモールスタートからのアカデミッククラウド導入事例 日下部 茂 (九州大学) クラウドコンピューティングの導入に際し、導入における様々な問題を解決した上で全面導入を目指すアプローチが考えられる一方、小さく始めて大きく育てるアプローチも考えられる。本発表では、教育および研究の双方を指向した大学において、小規模での限定的なパイロット導入から開始し、実際の導入で得られた知見と様々な状況の変化を勘案し、適宜方向性を検討しながら発展させたクラウドコンピューティングの導入事例について紹介する。
16:30～17:20 講演 40 分 Q&A 10 分	[4] 北海道大学における大規模学術クラウドの構築と運用について 棟朝 雅晴 (北海道大学) 北海道大学情報基盤センターにおいて 11 月よりサービスを開始した「北海道大学アカデミッククラウド」は、スパコン並みの演算性能 (43TFlops) を有する国内最大規模の学術クラウドシステムである。本システムでは最新のクラウドスタックを採用することで、ポータルからバーチャルマシンの申請や管理が一元的に行える、統合的なクラウドサービスを実現している。本講演では、当該クラウドシステムの紹介をするとともに、大規模学術クラウドシステムの構築と運用を通して、得られた知見について報告する。

～次ページに続く～

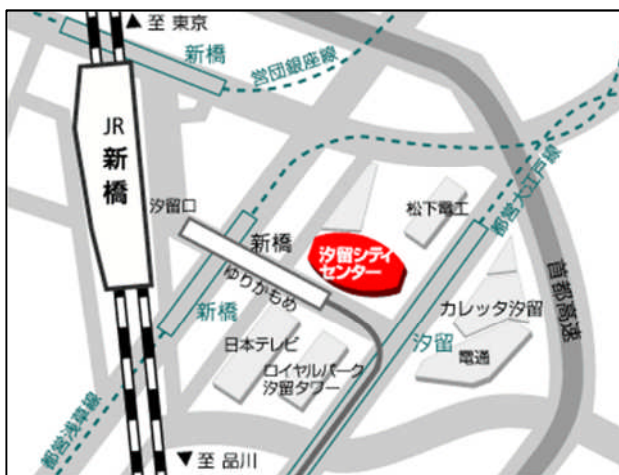
17:20～17:30	閉会あいさつ
17:30～17:45	休憩 (ニューズレター編集会議・講演者/企画委員)
17:45～19:00	懇親会 (会費 ¥500) お飲物とおつまみの簡易パーティです。お気軽にご参加下さい。会費は当日受付にて申し受けます。

■ アクセス

汐留シティセンタービル オフィスロビー(1階)の会合受付経由で、24階の大会議室へお越し下さい。
<http://jp.fujitsu.com/facilities/shiodome/>

＜＜電車でのアクセス＞＞

- ・JR 新橋駅
汐留口(地下1階)から徒歩3分
- ・東京メトロ 銀座線 新橋駅
出口4(地下1階)から徒歩3分
- ・都営地下鉄 浅草線 新橋駅
汐留方面出口(地下1階)から徒歩2分
- ・都営地下鉄 大江戸線 汐留駅
JR・ゆりかもめ新橋駅方面出口(地下2階)から徒歩1分
- ・新交通ゆりかもめ 新橋駅
出口1Dから徒歩1分



＜＜羽田空港から新橋駅までのアクセス＞＞

- ・東京モノレールとJR 山手線
羽田空港 から 浜松町 経由 新橋駅 (所要時間約30分)
- ・京浜急行と都営浅草線 (直通電車)
羽田空港 から 都営浅草線新橋駅 (所要時間約30分)

■ ご参加について

- 参加対象 : SS 研、IS 研、CS 研の各会員機関の方であれば、どなたでもご参加いただけます。
- 参加費 : 無料です。ただし、懇親会については 会費¥500 を申し受けます。
- 定員 : 100 名(予定)
- 服装 : ウォームビズをお勧めします。(室温 23℃)

■ 詳細・お申し込み

SS 研 Web サイトからお申し込み下さい。

<http://www.sskn.gr.jp/MAINSITE/>



【お問合せ先】サイエンティフィック・システム研究会 (SS 研) 事務局
 〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター
 富士通(株) カスタマーリレーション推進部内 (SS 研)
 TEL : 03-6252-2582(直通) FAX : 03-6252-2798
 Email:office@sskn.gr.jp URL <http://www.sskn.gr.jp/MAINSITE/>